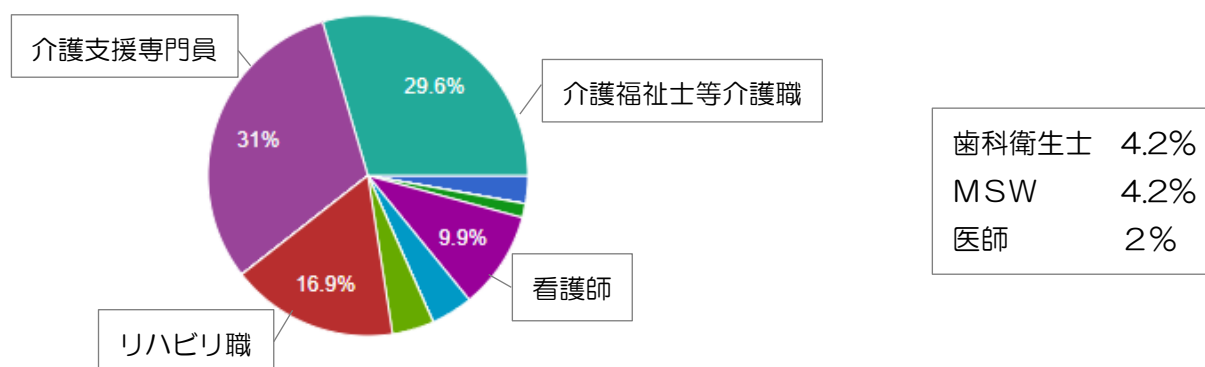
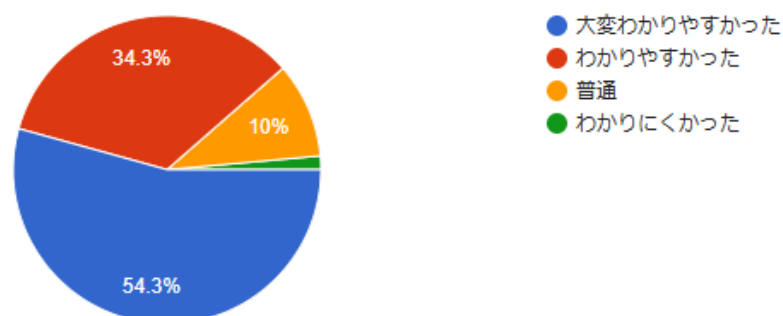


令和6年度多職種連携研修会アンケート集計結果 (n=71)

1. 職種別の参加状況

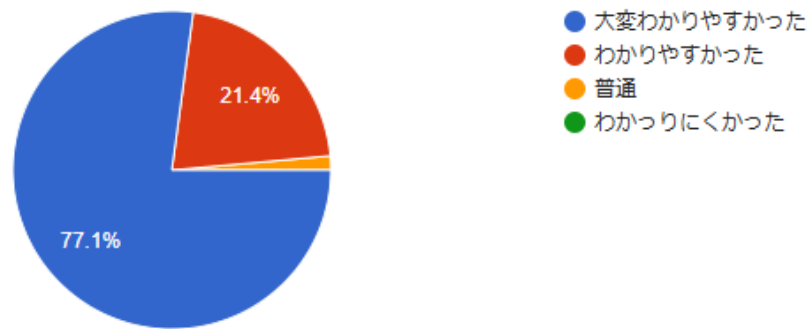


2. 歯科医師の萩原先生のミニ講座「パーキンソン病患者・利用者の摂食・嚥下機能(口腔機能別からの視点と対応について)」



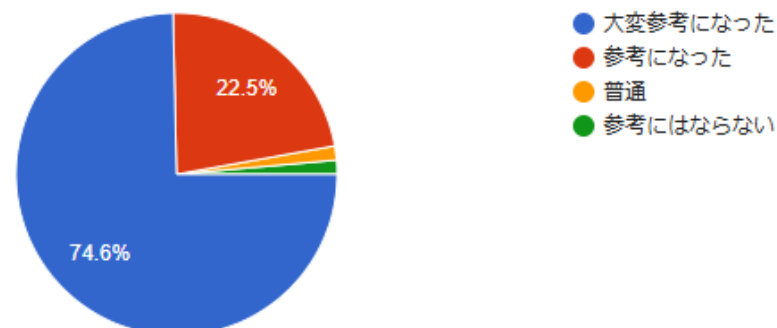
- ・時間が短すぎです。
- ・画像があり、視覚からも理解しやすかった。
- ・難しかった。
- ・大変勉強になりました
- ・VFの評価表など、とても分かりやすく、勉強になりました。
- ・あらためて嚥下について勉強することができて良かったです。
- ・大変共感できる部分が多かったです。姿勢の説明が画像ではなく、実際にしていただいたことで分かりやすかったです。
- ・わかりにくかったですが、はじめて聞いたこともたくさんあり、良かったです。
- ・配布資料が見にくい。色味、字の大きさ。
- ・VF検査の説明について、詳しく説明をして頂いたが、表の並び順のせいか比較してみることが難しくて分かりにくかったです。総合評価として書かれた文言は簡素で分かりやすかったです。
- ・摂食嚥下機能について、パーキンソンの方の症状についていろいろな事があると説明頂き分かりやすかったです。
- ・VFの結果が予想と違うものがあり、食形態の変更も慎重にする必要がある事がわかった。
- ・難しい症例であったので、たくさんの対応策が聞けたので、今後活かそうと思います。
- ・食事のタイミングでウェアリングオンできると理想的。ジスキネジアの出現で飲み込みにくさが出るのは想像していなかった。
- ・VFの結果は今までSTが見ていたもので、今回少しでも勉強できて良かった。
- ・口腔機能について専門的な評価基準などを知れて、今後事業所での評価や連携に活かしたい。

3.管理栄養士の二階堂先生のミニ講座「嚥下機能が低下した方の食事の工夫」



- ・実食によって、患者さんが普段食べているものを食べて体験できたのはとても参考になった。
- ・十分な時間配分で先生の講座を聞きたかった。
- ・味見ができ、舌触りで理解しやすかった。
- ・いろいろな物品があることを知りました
- ・ゆっくりお話し聞きたかったです
- ・実際に試食できて良かったです。
- ・試食をしたことがなかったので、ありがたかったです。もう少しお聞きしたかったです。
- ・トロミの比べができたのは初体験でした。トロミ具合での感覚の違いや飲み込み方で、こうも変わるのかと驚きました。
- ・もう少しゆっくり話を聞きたかったです。
- ・体験型はわかりやすい。良いと思います。
- ・調理方法はとても参考になりました。
- ・様々な食品でトロミの代わりができることを知った。
- ・姿勢まで管理栄養士さんが見て判断しているのは、すごいと思いました。
- ・豚やキャベツの味がきちんとしていた。グループホームで調理をしていた時は具材に分けて盛り付けたり味をあんかけ風にしていたので、正解だったと思えた。
- ・実体験のお話を交えてきけて良かった。

4.事例紹介、トロミ飲料や介護職の体験



- ・初めての試食に患者さんの気持ちがよくわかりました。
- ・ゆっくり体験したかった。
- ・視覚の大切さを知った。何を食べているのか分からなかった。
- ・実際に食べたり飲んだりする事がなかったので、すごく参考になりました。
- ・正直おいしいと感じた。手間をかけることで食事を楽しめる。

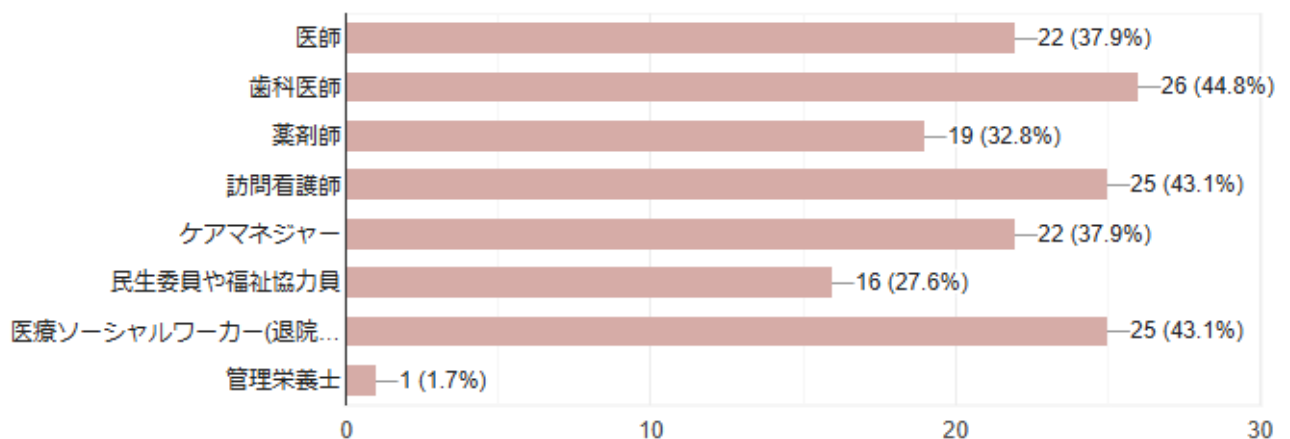
- ・思ったより美味しく食べられた。
- ・どんどん新しい物が出ていると思いました。情報大事です。
- ・食べてみないとわからないことが多いと思いました
- ・嚥下の改善方法が知りたいという声がありました。
- ・自分達で体験して分かる事が実感できた事で参考にしたい
- ・介護食の体験は、とても参考になりました。
- ・しっかり味が付いていて驚いた。
- ・様々な食品があることを知り、デイサービスの利用者様や家族に知っていただきたいと感じました。介護食体験は、良い経験になりました。
- ・デイサービスでは、おはぎなどの和菓子、ブロッコリー、トマト、鶏肉など一口大にして提供しても、ムセたりつめたりする方がいらっしゃいます。
- ・トロミ食を実際に食べ比べることで、口に残りやすかったり、患者さんにトロミをつける時に、注意しなければならないと再度考えるきっかけになりました。
- ・トロミの強い飲み物の方が飲み込みにくいにおどろきました
- ・あまりにも早く時間がなくて、じっくり感じられなかったので残念。
- ・VF 検査の説明を受けても事例に対してどう評価、判断、リスクをあるかについて説明が分かりにくい。解剖学的知識がないと難しいと感じました。
- ・お茶の味は想像通りでしたが、コーラは意外でした（炭酸用でなかったらこの美味しさではないのでしょうか）。お茶にとろみを入れても水分摂取量としては同じ効果でしょうか。「のどを洗う」がとても印象的で納得です。
- ・提供はするが、食べたことはなかった。
- ・実際に食べてみてびっくりしました。相手の立場がよくわかりました。
- ・トロミ飲料や介護食は、自分で体験する機会がなかなかないため、大変参考になりました。
- ・味見できた事、のど越し、参考になった。
- ・意外と美味しそうでまずかったり、良い体験だった。
- ・なかなかない機会だったので、体験できて良かった。
- ・トロミは利用者に使ってきましたが、その都度の観察でトロミの調整が大切ということがわかった。口を閉じ、しっかり飲めない方は難しい。
- ・味がしっかりついていて驚きました。
- ・実際頂いてよくわかりました

5.グループワークで印象に残った意見や情報、感想など

- ・トロミによって舌ざわりだけでなく、香りも変化するのには驚きました。
- ・体験することができてとても勉強になりました。
- ・意見交換ができなかったのが残念。マスクを外すことがあまり気がすすまなかった。
- ・時間が少なかったのが残念でした。
- ・意見交換ができなかった。
- ・それぞれの好みの違いがわかりました。
- ・コーラはおいしく飲みやすい。
- ・グループワークの時間が短かった。

- ・試飲良かった
- ・トロミがついた物の食感がわかりました。
- ・1回目よりなごやかでした。
- ・コーラは初めてだったので、驚きと嬉しさがありました。ご利用者さんに提供してみたいと思いました。
- ・大変良かった。
- ・一人一人感じ方の違いがやはりあった。
- ・食事体験ができてよかったです。
- ・それぞれ感じ方が違い、おもしろかった。
- ・他施設スタッフと交流ができて大変良かったです。楽しく研修ができました。
- ・嚥下職は美味しくないものと思っていたが、実食ができ味がしっかりしており驚きました。

6.多職種連携で、どの職種とよりつながりたいと思いますか？(複数回答)



- ・義歯を作ったけど使っていない患者さんが非常に多く、普段から苦労しているため。
- ・いろいろな角度からの意見を聞きたい。
- ・まだまだ連携不十分です。多くの方とつながりたいです。
- ・インフォーマルな支援の学びのため
- ・通所系で関わりがないため
- ・疾患でわからないことを教えてほしい 日常生活への注意点など
- ・退院後の状態を知ることができるから
- ・病気についての対処の仕方など、どの程度まで様子を見てよいかわからないので相談できたら安心。
- ・地域の中でまだまだケアの必要な方への支援
- ・病気に対しての対応の仕方などを学びたい
- ・地域により情報が異なるので、情報交換したい。
- ・駐車場に困っている時など、力になっていただけたので。
- ・地域の協力を得ることができるとありがたい。
- ・訪問看護師として協力できることがあると思うから。
- ・口腔の状態が悪い患者を担当する機会が多いため。
- ・お互いの役割について理解し合いたい。
- ・在宅での経験など

- ・日頃の業務で、医療面での支援を求める方が多いと感じるため。
- ・院内の状況と在宅の状況、生活の連携がうまくいくよう意見交換したい

7.小倉地区の医療と介護の連携について、どのような地域になればよいと思いますか？あなたの理想を教えてください。

- ・気軽にどんなことも相談できる関係
- ・他職種で連携し合える地域
- ・医療職と介護職と分けて考えずに皆がフラットな視点で話し合えるような地域になればいいと思います。
- ・いろいろ悩みを語り合えるようなグループワークができたらと思います。
- ・患者様の相談などしやすい関係づくり
- ・医療との連携は必要不可欠ですが、今後も気持ちよく取り組みたい。
- ・他職種とスムーズな連携が取れ、思いやり合う地域
- ・同職種であってもそれぞれ得意とすることを共有し、利用者にもっとも適した環境を作れること。
- ・連携をとりやすく